

APIR Trend Watch No. 31

日本とオーストラリアのラグビー場の比較

～2019年ワールド・カップに向けて～

APIR 主席研究員/甲南大学教授 森剛志

はじめに

2019年ワールド・カップの開催に向けて、開催12都市がすでに決定されている。その中でも、高校ラグビーの聖地ともいえる「東大阪市花園ラグビー場」を見学してきた。海外からの訪問客も引き付けるためには、どのような点がこれからの取り組みとして重要と考えられるか、まずは現場報告をさせていただきます。

東花園競技場は、近鉄線「東花園駅」から徒歩で10分程度のところにある。大阪難波駅からも奈良駅20～30分程度の各駅停車であるため、アクセスとして悪くはないといえる。3万人の集客数の会場をもつため、高校ラグビーの憧れの場所としてだけでなく、大学ラグビーや社会人ラグビーのメイン会場として長年利用されてきた。以下では、まず実際に見学をさせて頂いたことを踏まえつつ、会場設備について言及していく。その後、日本の会場と対比させる形で、ラグビーを国民的スポーツとしているオーストラリアの会場について触れていくこととする。

東大阪市花園ラグビー場の施設について

・第1グラウンド



(写真は筆者が選手の入場口であるメインスタンドから撮影したものである)

東大阪市花園ラグビー場には第1から第3までのグラウンドが存在する。その中でも社会人ラグビーのトップリーグなどで使用されるのがこの第1グラウンドである。取材で伺った所、設計上の収容人数はおよそ3万人と呼ばれているが、実際の収容人数はそれを少し下回る規模なのだという。

現在、座席は個別シートのエリアと長椅子が並べられているエリアの2種類となっている。またメインスタンドから右手にはスコアボードの設置された立ち見席がある。この立ち見席は第1グラウンドが以前ゴルフ練習場としての利用もあった名残なのだそう。

グラウンドの整備もしっかり行われており、年中青い芝を維持するために、芝には夏芝と冬芝の2種類が使用されている。ティフトンと呼ばれる品種の芝を夏に使用し、冬場には枯れてしまうこの芝と入れ替える形で冬芝の種を蒔き、一年中見栄えの良い青い芝になるよう調整が行われている。

2019年へ向けての取り組みとしては、会場規模の増設が予定されており、現在およそ3万人規模である会場を3万5000人から4万人規模の会場へと改修を行う予定である。その際、座席の長椅子部分をやめ、すべて個別シート席に変更していきたいとのこと。また、現在花園ラグビー場には大型映像装置が設置されていないため、改修時に映像設備についても設置していく方針なのだそう。

・会場内の飲食設備



(写真は筆者が撮影した会場内のレストラン及び屋台の様子である)

後ほど、オーストラリアの例をご紹介するが、ここではまず東大阪市花園ラグビー場における現状をご紹介する。競技場内にはおよそ100人~150人が収容できるレストランが併設されている。ラグビー場でレストランが併設されている所は意外と少ないようで、ひとたび試合になると、レストランには長蛇の列が出来る。そのため、軽食を提供できる屋台が数店舗併設されている。

現在、東大阪市花園ラグビー場の周辺は住宅地となっている。そのため大規模な人数が収容できる飲食施設がなく、試合観戦者は近鉄東花園駅付近にあるスーパーマーケットなどで、食料品を買ってから会場に来ることが多い。このあたりは会場の立地にもよるところではあるが、高級ディナーを食べながら試合観戦をするオーストラリアとは異なり、スポーツ観戦における文化の違いと言えるだろう。

・貴賓室及び放送席



(左側の写真が貴賓室のもの、右側が放送席のものである)

メインスタンドの5階には放送席と貴賓室が設けられている。貴賓室は写真のような部屋が2部屋連なっており、ソファとテーブルの席に加え、窓際から試合を観戦することも出来る。また外のデッキに出ることも可能であり、試合会場が一望できる作りとなっている。放送室についても上下2段に分かれた座席が設置されており、どちらからでも試合を一望できる作りとなっている。

取材の際には今後、改修に当たって、放送席の部分を作り変え、いわゆるVIP席として利用する案も考えられているということであった。甲子園球場では、企業が使用するVIP席があり、その場で注文すればオードブルでもなんでも食事が提供されるという部屋がある。その場で観戦している臨場感も味わえるとともに、冬場など寒ければ窓を閉めて、テレビ中継を見ておくこともできる。こうした高級志向のレストランやVIP席を一般人にむけても作っていきけるかが、これからの新しい戦略として考えられるだろう。

競技場内には小規模であるが、ラグビー資料室と呼ばれる部屋が存在している。ここではラグビー・ワールド・カップの軌跡や、社会人だけでなく、高校ラグビーや大学ラグビーなどでも良く使用される競技場であるので、有名校のユニフォームなども展示されている。資料室には映像装置などを追加して、より観光に向けた配慮も行っていきたいとのこと。

以上が今回取材に伺った際に確認した施設の概要である。

2019年に向けて東大阪市花園ラグビー場も改修が順次行われる予定であるが、世界初のアジア圏で開かれるラグビー・ワールド・カップは海外からの観客動員も多数ある事が予想される。現状、日本におけるインバウンド旅行者の8割ほどがアジア圏からの訪問者であるが、今回のラグビー・ワールド・カップにおいては特に世界でもラグビーを国民的スポーツとして愛好しているオーストラリアなどから新規の訪日観光客が増加するだろう。

ところで、オーストラリアの競技場はどのようになっているのであろうか。集められる情報を収集して、以下にまとめてみた。日本の競技場とはかなり異なるが、今後の参考として見ていただきたい。

オーストラリアのスタジアムにおける Sports Hospitality

オーストラリアのスタジアムでは、企業向けの施設やプレミアム・サービスの提供が一般的である。そのサービスは Sports Hospitality と呼ばれる。スタジアムで、企業関係者はイベントを行ったり、豪華な部屋からスポーツを観覧したり、スポーツ選手や有名人と一緒に会食したりする。スタジアムで行わる企業イベントが盛んであり、イベントの予定を立てる専門会社が数多くある。Morgan & Johnson (2005, p. 46)によると、オーストラリアのスタジアムの収益の多くは入場料収入ではなく、企業イベントや企業向け施設使用

料収入を始め、命名権や宣伝用看板の販売総額、飲食品とグッズの販売総額で形成されている。つまり、Sports Hospitality の経済効果が非常に高いといえる。

以下、オーストラリアの最も大きいスタジアムが提供している企業関係者向けのプレミアム施設やサービスをまとめたので参考にさせていただきたい。

スタジアム収容能力ランキング（オーストラリア）

	場所	名前	収容能力
1	メルボルン	メルボルン・クリケット・グラウンド(Melbourne Cricket Ground)	10 万人
2	シドニー	スタジアム・オーストラリア (Stadium Australia)	8 万 4 千人
3	メルボルン	ドックランズ・スタジアム (Stadium Australia)	7 万 4 千人 (イベント時)
4	アデレード	アデレード・オーバル (Adelaide Oval)	5 万 4 千人
5	ブリスベン	ラング・パーク (Lang Park)	5 万 3 千人

スタジアム収容能力ランキング（日本）

	場所	名前	収容能力
1	東京都新宿区	国立霞ヶ丘陸上競技場（改造中）	8 万人 (イベント時)
2	神奈川県横浜市	横浜国際総合競技場（日産スタジアム）	7 万 3 千人
3	埼玉県さいたま市	埼玉スタジアム 2002	6 万 3 千 7 百人
4	東京都文京区	東京ドーム	5 万 5 千人 (イベント時)
5	静岡県袋井市	静岡県小笠山総合運動公園スタジアム	5 万 1 千人

結論

以上の情報からわかるように、日本とオーストラリアにおいては「スポーツ観戦」の文化がまるで異なる。日本の文化としては、豪華な食事などをとるといった文化はなく、「試合観戦が出来れば良い」という意識がある。

1試合あたりの観戦料金も大人で2千円、高校生なら1千円程度という相場である。そのため、高いチケット代金を払ってまで見に来る観客はあまり多くはない、と言うのが今回取材を行った際に伺った東大阪市花園ラグビー場の現状だ。

一方、オーストラリアのスタジアムでは高級施設を提供することが一般的であり、スタジアムでネットワーキングや他社からの常用客の接待を行う企業が多い。つまり、sports hospitality がオーストラリアの文化の一部である。多くのスタジアムでは、以上の 2015 年度のプランがすでに売れ切れて、施設の予約が取れないほど人気である。日本ではスポーツ観戦の文化が異なり、このような施設やプランを提供するスタジアムは珍しいといえよう。

日本のスタジアムの現状において、高級施設を設置するとオーストラリアと同じような経済効果があるかどうかは今後分析すべき点である。しかし、ラグビー・ワールド・カップのような国際レベルのスポーツ試合では、外国人観客が母国と同じような高級施設を求めるはずである。日本のスタジアムが海

外から来る観客の需要に応じて、新たに高級施設を建設するかどうかはインバウンド需要を増加させる一つの争点と言えるだろう。

参考文献

Morgan, M. J. J. & Summers, J. (2005), *Sports Marketing*. Sydney: Cengage Learning Australia

Appendix

ここでは、オーストラリアの高級なサービスを提供している主なスタジアムの例の詳細を列挙する。

注：1豪ドル=90円として計算している。

1. メルボルン・クリケット・グラウンド (Melbourne Cricket Ground)

貴賓室の概要

◇ Jim Stynes 室

価格：一人\$370 豪ドル (3万3300円)

3品コース豪華食事、飲み物提供。ガラス部屋から試合観覧。試合前、ハーフタイムにゲスト・スピーカーの公演。接客係が注文をうける。駐車スペースも提供 (一テーブル二台)。

◇ ラウンジ

値段：一人\$295 豪ドル (2万6500円)

食事、飲み物注文可。引っ込め可能ガラス窓のある部屋から試合観覧。

◇ 個室

値段：一人\$390-550 豪ドル (3万5100円~4万9500円：試合、部屋の大きさによって値段が変わる)。

10人~18人定員。3品コース豪華食事、飲み物提供。引っ込め可能ガラス窓のある部屋から試合観覧。接客係が注文をうける。貸切バー、キッチン、お手洗いあり。企業の看板を個室の外で提示。駐車スペースも提供 (二人一台)。

◇ 重役室

50人定員 (10人定員のテーブルのみ、あるいは全室予約可)。3品コース豪華食事、飲み物提供。引っ込め可能ガラス窓のある部屋から試合観覧。貸切バー、キッチン、お手洗いあり。接客係が注文をうける。企業の看板を個室の外で提示。駐車スペースも提供 (二人一台)。

◇ Jolimont Club

年間メンバー料：\$17,950 豪ドル (161万5500円)

一年にオーストラリアフットボール (AFL) の20試合で2席 (豪華ガラス部屋席) を提供。MCGに行われる試合に限らず、試合を自由に選べる。MCGで行われる AFL 決勝戦シリーズのすべての試合で1席提供。4つの国際クリケット試合で2席を提供。試合は自由に選べる。すべての試合で豪華食事、飲み物提供。メンバーに駐車スペース提供 (二人一台)。追加パス購入可。

2. スタジアム・オーストラリア

施設概要

◇ 116 個室 (重役室)、112 貸切野外スペース (ボックスと呼ばれる、それぞれ 20 席)、総合 6000 企業向けの席

◇ 重役室の1年間予約料金は\$165,000 豪ドル (1,485万円)

- ◇ 重役室にはバー、食事スペース、バルコニーがあり、年間予約をすると貸切ボックス（20 席）が提供され、企業バナー、看板などを個室内外で提示できる。また、スタジアムの施設を他のイベントで使用することができる。
- ◇ そのほか、ラグビー決勝戦などでは、貸切施設を一人 \$ 750~1500 豪ドル（6万 7500 円~13万 5000 円）で予約できる。スタジアム内外の食事提供プランあり。
- ◇ 特別価格（未公開）で、選手の更衣室訪問、グラウンド入場、過去、現在のラグビー選手と一緒に観戦体験もある。

3. ドックランズ・スタジアム

3 種類のメンバー・プランの概要

1. Centre Wing

価格（1人）月 \$ 225 豪ドル（2万 250 円）から

特典

- ◇ AFL 試合時、見晴らしのいい席の予約
- ◇ 試合に行けないときは同僚、親戚など使用可
- ◇ AFL 決勝戦の席の予約が提供される（別価額で）
- ◇ メルボルンの夜景が見られるメンバー・バーの入場権
- ◇ スタジアム内のレストランで窓際の席の使用権
- ◇ ファストパス制スタジアム入場権

2. Medallion Club

価格（1人）1年~ \$ 5000 豪ドル（45万円）

特典

- ◇ すべてのイベントと試合の見晴らしのいい席の予約
- ◇ AFL 決勝戦の席の予約が提供される（別価額で）
- ◇ スタジアム内の4つのメンバー・レストランとバーの入場権
- ◇ ファストパス制スタジアム入場権
- ◇ ビジネス・イベントのために施設貸借権
- ◇ 他の施設（競馬場・ゴルフ場・ラグビースタジアム・クリケットスタジアム・ライブなど）の入場権、参加権
- ◇ 駐車場のスペースの提供

3. Diamond Club

価格 未公開

特典

- ◇ すべてのイベントと試合を豪華な重役室から観覧
- ◇ 3品豪華食事
- ◇ \$ 1000(9万円)までワインやその他の飲み物のつけがきく
- ◇ 接客係対応
- ◇ 無料 Wifi
- ◇ AFL 決勝戦の席（2席）が提供される

- ◇ スタジアム内の4つのメンバー・レストランとバーの入場権
- ◇ ファストパス制スタジアム入場権
- ◇ ビジネス・イベントのために施設貸借権
- ◇ 他の施設（競馬場・ゴルフ場・ラグビースタジアム・クリケットスタジアム・ライブ・劇場・映画館など）の入場権、参加権
- ◇ 駐車場のスペースの提供
- ◇ Etihad 航空会社のメンバー・プログラム登録

貸切重役室

価格 常設重役室：未公開

- ◇ 一試合予約：一人 \$ 450~525（4万500円~4万7250円）（定員12人~16人）

特典

- ◇ イベントと試合を豪華な重役室から観覧
- ◇ 窓開閉可
- ◇ 3品豪華食事提供
- ◇ 豪華飲み物提供
- ◇ 接客係対応
- ◇ 無料 Wifi
- ◇ ファストパス制スタジアム入場権
- ◇ 駐車場スペース提供（数スペース利用可）

常設重役室の追加特典

- ◇ 設計、装飾に貢献権利
- ◇ 部屋内外の企業バナーや看板の設置
- ◇ 企業イベントやセミナーなど、多目的使用可
- ◇ 他の施設（競馬場・ゴルフ場・ラグビースタジアム・クリケットスタジアム・ライブ・劇場・映画館など）の入場権、参加権

4. アデレードオーバル

年間メンバープランの要旨

値段

- ◇ \$4315 豪ドル（38万8350円）

特典

- ◇ メンバー施設（バー、レストラン、見晴らしのいい100人定員の豪華部屋）入場権
- ◇ 企業のブランド・ロゴを提示する心地いい席の提供
- ◇ すべてのクリケット、AFL、サッカー試合の観戦
- ◇ 4人に1台の駐車場スペースの提供
- ◇ 追加入場券が購入可
- ◇ コンサート、イベントなどの入場券の優先購入
- ◇ + \$4500 豪ドル（40万5000円）で豪華食事、飲み物提供、駐車スペース（2人に1スペース）

ホスピタリティ要旨

1. 団体予約施設

価格

- ◇ 11 試合：\$14,700～\$30,000（132万3000円～270万円：場所、定員数、ガラス窓有無による）

特典

- ◇ 8～12 人定員
- ◇ 2～3 台の駐車スペース提供
- ◇ シーズン開幕などのイベント券提供

2. 個人プラン

◇ 試合前会食プラン

- 値段：1 試合 \$ 300 豪ドル（2 万 7000 円）
- 試合前、豪華食事 3 品提供
- 試合中、飲み物・スナック提供
- ガラス窓のある室で試合観戦

◇ Locker Room プラン

- 値段：一年 \$ 1,900 豪ドル
- 地下バー入場権
- 試合前軽食提供
- 試合中、飲み物提供
- 見晴らしのいい席提供
- バーから選手のウォーミング・アップを観覧できる

3. 常設重役室

価格

- ◇ 未公開、一年予約制度

施設

- ◇ 34 室予約可
- ◇ 開閉可のガラス窓室
- ◇ 貸し切りバー

特典

- ◇ 企業広告提示（\$ 30,000 ドル：270万円）
- ◇ 豪華食事、飲み物提供
- ◇ 企業イベントのために施設使用可
- ◇ 1 部屋 3 台の駐車スペースを提供
- ◇ メンバー施設入場権
- ◇ すべてのクリケット、AFL 試合観戦
- ◇ 接客係対応（別途料金）
- ◇ コンサート、他のスポーツ試合の入場券の優先購入

- ◇ グッズ提供

5. ラング・パーク

年間メンバープランの要旨

価格

- ◇ **\$1200~\$2700 (10万8000円~24万3000円)**：席の場所、食事有無による)

特典

- ◇ ラグビー、サッカーの全試合観戦
- ◇ 試合に行けない場合、他の人が代わりに入場できる
- ◇ ファストパス制入場
- ◇ コンサート、イベントなど優先購入
- ◇ メンバー・バー、施設入場権
(以下は**\$2700 (24万3000円)**メンバーのみ)
- ◇ 試合後、食事部屋で食事提供と演芸観覧
- ◇ スタジアム外の駐車スペース 1 台提供

貸し切り重役室の要旨

- ◇ 値段未公開、一年間予約制度
- ◇ 14~20 人定員
- ◇ 企業ブランド装飾、看板などの設置
- ◇ 全試合、イベント時に使用可 (別途料金のイベントあり)
- ◇ スタジアムの駐車スペース提供
- ◇ 貸し切り食事、バー施設
- ◇ 食事、飲み物プランあり (数種類)
- ◇ 専用接客係
- ◇ テレビ画面
- ◇ エアコン
- ◇ スタジアム周辺の高級ホテルの割引

＜APIR 主席研究員／甲南大学教授 森 剛志，
APIR 研究協力者／神戸大学大学院 津崎章裕，
APIR インターン／大阪大学大学院 Miles NEALE，
contact@apir.or.jp, 06-6485-7690＞

・本レポートは、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当研究所の見解を示すものではありません。
・本レポートは信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、記載された内容は、今後予告なしに変更されることがあります。